

A O M O R I A R E A



●ほちのへし
八戸市
被災した港を見渡す高台で防災を学ぶ

●ほちのへしみなとたいけんがくしゅうかん

港 町八戸市は青森県で最も被害が大きかったエリア。八戸港を見下ろす高台の館と公園内にある八戸市みなと体験学習館は、地域の歴史・文化と東日本大震災の被害を伝える場として2019年7月にオープンしました。

防災学習フロア(1階)にあるのは、震災当時の状況を感じてくれる「震災タイムトンネル」、発災から復興までの記録をまとめた「津波アーカイブ」、防災グッズの展示など、震災についての学びを通して防災意識を高められる内容となっています。歴史・文化学習フロア(2階)では、八戸の魅力を紹介する「湊ワイドスコープ」、昭和30年代の様子を再現したミニジオラマなどを地域の歴史と文化を感じることが出来ます。

施設と同じ館奥公園内に立つグレットタワーみなと展望室から八戸の港や町並みを見渡してみるのもおすすめです(入館無料)。

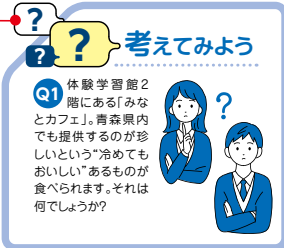
2階「歴史・文化学習フロア」にある「湊ワイドスコープ」。高さ2.6m、幅1.3mの大型スクリーンに、八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの伝統行事をはじめ、種差海岸の風景など地域の魅力が映し出される



1階「防災学習フロア」の中央にある「震災タイムトンネル」。正面と左右にモニターが配された通路を歩きながら、東日本大震災の津波が迫ってくる様子などを映像と音響でリアルに体験できる



「震災タイムトンネル」を抜けたとところにある「津波アーカイブ」。写真や新聞記事を用い、東日本大震災当時の状況を時系列で展示する。復旧の経緯、被災地に寄せられた支援などについても紹介している

Q&A
考えてみよう

注目してほしいポイントや自分自身で考えるきっかけを問いかけています。現地で確かめながら答えを見つけましょう。

Q1

体験学習館2階にある「みなとカフェ」。青森県内でも提供するのが珍しいという“冷めてもおいしい”あるものが食べられます。それは何でしょうか？

④ 防災食のメニューが食べられる。カレーや牛丼など非常時の食事を体験することができる。防災グッズの販売もあり。

青森

岩手

宮城

福島

市町村の
被災状況

各市町村ごとの被災データ・住家被害・人的被害をまとめています。

- 被災データ
- 住家被害
- 人的被害

ジャンル

施設の特徴を4つに分類して紹介しています。

- 展示・交流拠点
- 慰霊碑・公園
- 震災遺構
- その他

ガイドアイコン

解説員等の配置がある「施設ガイド」、講話・ツアーを行う「語り部」、音声で解説を行う「音声ガイド」、バリアフリーで入場できる「車椅子OK」をそれぞれ示しています。(施設からの回答により掲載)。

- 施設ガイド
- 語り部あり
- 音声ガイド
- 車椅子OK

八戸市

八戸市みなと体験学習館

被災した港を見渡す高台で防災を学ぶ

八戸市の被害状況	
最大震度	5強
浸水面積	9km ²
最大浸水深	11.18m
全壊	254棟
半壊	624棟
一部損壊	851棟
死者	1人
行方不明者	1人
負傷者	71人

※被害状況のデータについては令和4年3月1日現在のもの。
※空欄または「不明」としているものは詳細資料の通り掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 車椅子OK

施設DATA

●ほちのへしみなとたいけんがくしゅうかん
八戸市みなと体験学習館
☎0178-38-0385 MAP P110E4
①八戸市湊町館奥67-7
②JR陸奥湊駅から徒歩10分
③9~19時(7・8月は~21時、7・8月の日曜は6時30分~21時)
④月曜(祝日の場合は翌日)
⑤無料
⑥あり(大型バスあり)

18

※各市町村の被害状況のデータについては、以下の資料に準拠しています。

- 最大震度** 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度、平成24年12月、気象庁
- 浸水面積** 津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報)、平成23年4月18日、国土地理院
- 最大浸水深** 津波痕跡データベース、東北大学災害科学国際研究所、東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
- 住家被害・人的被害** 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙)、令和4年3月8日(火)14時00分、消防庁災害対策本部

●データは令和4年3月1日現在のもの。●被害状況には、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の余震による被害(別に被害状況のとりまとめを行っている令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震及び令和3年3月20日に発生した宮城県沖を震源とする地震による被害を除く。)を含むほか、平成23年3月11日以降に発生した余震域外の被害の区別が不可能な地震による被害を含む。●不明箇所については、現時点で調査しているものも含む(空欄または「不明」としているものは、資料記載の通り本誌に掲載)。●福島県の死者・行方不明者数については、他県の計上方法と異なるため、可能な範囲において重複計上や計上漏れを排除し、一部他県との整合を図り計上し直したもののよって、消防庁と福島県の公表数に違いがある。